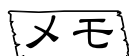


オートマチック車の登録(つづき)

ステップ
8

キーをOFFにします。
以上でオートマチック車の登録は終了です。



車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス(アース線)を外すとオートマチック車の登録情報が消去されます。この場合には再度オートマチック車の登録を行って下さい。

動作確認をします



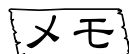
警告

周囲の安全を確認の上、パーキングブレーキをしっかりとかけて下さい。
シフトレバーは、必ずPレンジにして下さい。重大な事故につながる恐れがあります。

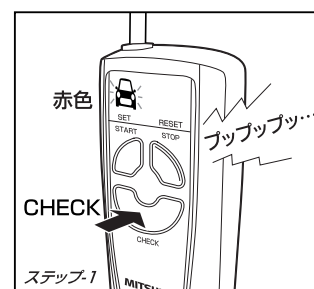
ステップ
1

リモコンのCHECKスイッチを短く(1秒以下)押します。

リモコンのロッドアンテナを最後まで引き出して、CHECKスイッチを短く(1秒以下)押すとスイッチ操作待ち表示【音「ププププッ…」、LED赤色点滅】を3秒間表示します。



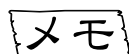
・CHECKスイッチを長く(1秒以上)押してしまうと、「エンジン始動状態の確認」送信となります。アンサーバック表示終了後に、もう一度CHECKスイッチを短く押して下さい。



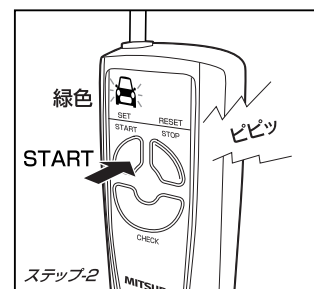
ステップ
2

3秒以内にSTARTスイッチを押します。

スイッチ操作待ち表示中にSTARTスイッチを送信音「ビピッ」が鳴るまで押します。その約1秒後にアンサーバック表示【音「ビピッ」、LED緑色1回点滅】をします。



STARTスイッチを押す前に、スイッチ操作待ち表示が終了(3秒経過)してしまった場合は、ステップ1からやり直して下さい。スイッチ操作待ち表示終了後にSTARTスイッチを押すとLED威嚇のセット(設定時)およびオプション品のセット(別売・取り付け時)の送信となります。



ステップ
3

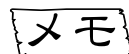
車のエンジンが始動します。

エンジンスターター本体が信号を受信すると、数秒後にスターターが回りエンジンが始動します。エンジン始動後は、エンジンスターター本体から警告音「ブッ」が数秒間隔で鳴り続けアンテナユニットの緑色LEDが点滅を始めます。一度で始動しない場合は、その後2回のリトライ(再始動)動作を行います。

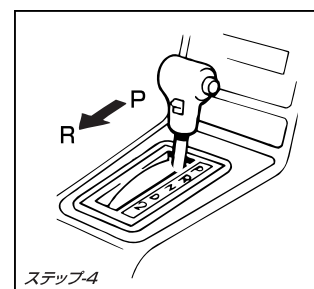
ステップ
4

シフトセンサーの確認をします。

リモコンでエンジンが始動した後、キーを差さずにフットブレーキをしっかりと踏みながら、シフトレバーをゆっくりとPレンジからRレンジへと動かします。このときエンジンが止まることを確認します。



車種によっては、キーを差さないとシフトレバーが動かせないものもあります。その場合は、キーをACCの位置まで回して確認して下さい。



以上で動作確認は終了です。

正常に動作しない場合は、下記の「エラー発生時のQ&A」を参考に対処して下さい。

エラー発生時のQ&A

Q (症状)	A (対処方法)
●ステップ2でSTARTスイッチ操作1秒後のアンサーバック表示が説明と異なるのですが…?	▶ 13ページの「リモコンでエンジン状態を確認するとき」を参照して下さい。
●エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまうのですが…?	▶ エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。詳しくは、23ページの「L端子検出方式への変更」を参照して下さい。
●エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまうのですが…?	▶ エンジンの自動始動検出が、うまく行われていないと考えられます。詳しくは、23ページの「始動検出方式の切替」を参照して下さい。
●一部ディーゼル車で寒冷時に始動がうまく行われないのですが…?	▶ グロー(予熱時間)が足りないことが考えられます。詳しくは、24ページの「グロー時間の切替」を参照して下さい。

次のページへ進んで下さい。